

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

社は・経営理念

「自利利他」を社是とし、顧客への貢献を経営理念として掲げ、会計事務所の職域防衛と地方公共団体の行政効率向上を支援する。

顧客数
80万件超件

TKC会員の黒字達成
57.0%

TKC会員数
1万1,600名

② 中長期の経営戦略

1. AI活用強化

宇都宮大学との共同研究やプログラミング生成AIの活用により、システム開発体制を強化し付加価値を高める。

2. サイバーセキュリティ強化

社員教育の徹底と積極的な設備投資により、クラウドサービス提供における安全・安心を一層強化。

3. 会計事務所向け商品推進

FXクラウドシリーズ・月次決算速報サービス・ペパルインボイスなど複数商品で黒字決算と適正申告を支援。

4. 標準準拠システム移行

令和8年3月末までに国が定める標準仕様への準拠を完遂し、その後の成長につなげる。

③ 対処すべき課題

① AI時代への対応

- ・生成AIが想定以上のスピードで進化。法令準拠しながら積極的にAI活用を進める必要がある。
- ・顧客の課題解決支援のため、AI知識・スキルを持つ人材育成が急務。

② 人材確保と働き方改革

- ・少子高齢化による労働生産年齢人口減少で人材採用が一層厳しくなると見込まれている。
- ・優秀な人材確保・育成強化と待遇改善、職場環境整備を継続推進。
- ・人的資本経営と資本効率の向上、株価を意識した経営を推進する。

③ 地方自治体のDX加速

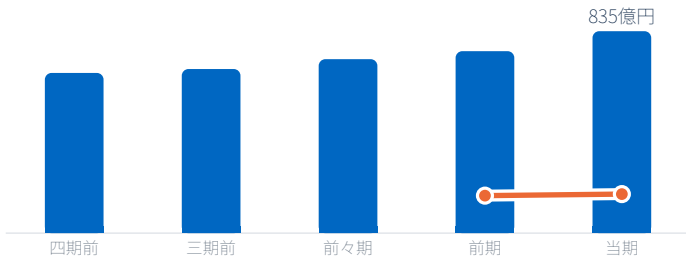
- ・市区町村が標準仕様準拠システムへ移行。他業種・新興企業の参入で競争激化。
- ・システム標準化後の継続成長のため、新たな顧客価値創造とサポート充実が必須。

面接で使えるポイント

- ・創業来の事業目的である会計事務所職域防衛と地方公共団体行政効率向上に貢献する企業姿勢。
- ・TKC会員の関与先57.0%が黒字決算を実現するなど、顧客の経営支援実績が高い。
- ・80万件超のクラウドサービス顧客を支える自社データセンターと、創業60年のノウハウを活かした24時間365日体制の運用。

証券コード 9746

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
835億円営業利益率
19.3%財務健康度
83点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 69.3（当サイト算出の参考指標）

平均年収
921万円

情報・通信業内 49位/592社

平均年齢
40.3歳

情報・通信業内 178位/593社

平均勤続
17.1年

情報・通信業内 17位/593社

女性管理職
6.1%

情報・通信業内 317位/373社

男性育休
71.7%

情報・通信業内 208位/297社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: T K C の財務会計ソフト「F Xクラウドシリーズ」がクラウド請求

